

第 16 回全国大会開催にあたって

大会テーマ「情報科教育の実践と課題」

2022 年 4 月から高等学校では「情報 I」が共通必修科目となり、大学入学共通テストでは 2025 年 1 月から「情報」が出題される予定となっています。これに伴い、高校の教育現場では新たな教育内容や教育方法を開拓しながら、試行錯誤を経て、質の高い教育実現に向けた取組がなされています。また、2023 年度からは発展的な科目として位置づけられる「情報 II」が一部の高等学校で実施されることも受け、「情報 I」と「情報 II」における取り組みを併せて全国レベルで広く共有し、授業の評価と改善を繰り返していく必要があります。そして、その先に繋がる大学との接続の視点も考え始める必要もあります。本学会でも、昨年の全国大会で、教科情報の発展と充実に向けてどのような内容をどのように教えていくことが望ましいのか、さらにカリキュラム・マネジメントを通じた教科横断的学習の可能性について議論をしました。本年は、昨年の流れを受けて、教育実践の始まった「情報 I」や具体的な検討準備に入っている「情報 II」の教育内容や教育方法に関する有用な知見の共有と発信に努めることとします。

そこで本大会では、教科情報で進められようとしている教育実践における課題は何か？それをどのように解決していくのかをメインテーマに開催をしていきます。この課題の共有のためには、大会に集う参加者の日頃の実践を持ち寄り、事例の共有を行うことが肝要です。そのため本大会を、成功事例・失敗事例を含めて事例の共有を図ることで課題観を共有し、その先にある新たな展望を考える機会と位置づけます。高校の教育現場での授業に関する実践事例や「情報 II」を見据えた検討事項、GIGA スクール構想における教育の情報化に関わる事例、プログラミング教育、カリキュラム構成の中での教科等横断の取組など、新たな情報科教育に関わる多様な知見の共有を図っていきます。あわせて、大学と高校の教員双方が集まる本学会の特色を活かし、高大接続に関する議論を進める機会とします。

日本情報科教育学会 全国大会委員会
委員長 小松川浩（公立千歳科学技術大学）

2023 年 7 月 1 日